

有帆川洪水ハザードマップ 万倉地区 (想定最大規模)

凡例 (地図の読み方)

表記	名称	説明
	指定緊急避難場所	洪水の深さと状況
	消防	10m~
	警察	5.0m~10m 2階が水没
	水位観測所	3.0~5.0m 1階床下~天井
	雨量観測所	0.5~3.0m 1階床下~2階床下
	排水機場	~0.5m 1階床下まで
	鉄道	
	主要道路	
	市域界	
	水面	

避難行動

- 浸水しない場所へ避難
- 氾濫がすでに始まっている場合などは近くの安全な場所へ避難
- 原則浸水しない場所へ避難
- 周囲が危険な場合は、屋内の安全な場所まで待機

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時に家屋の倒壊や流失をもたらすような激しい氾濫流や河岸侵食のおそれがある地域です。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

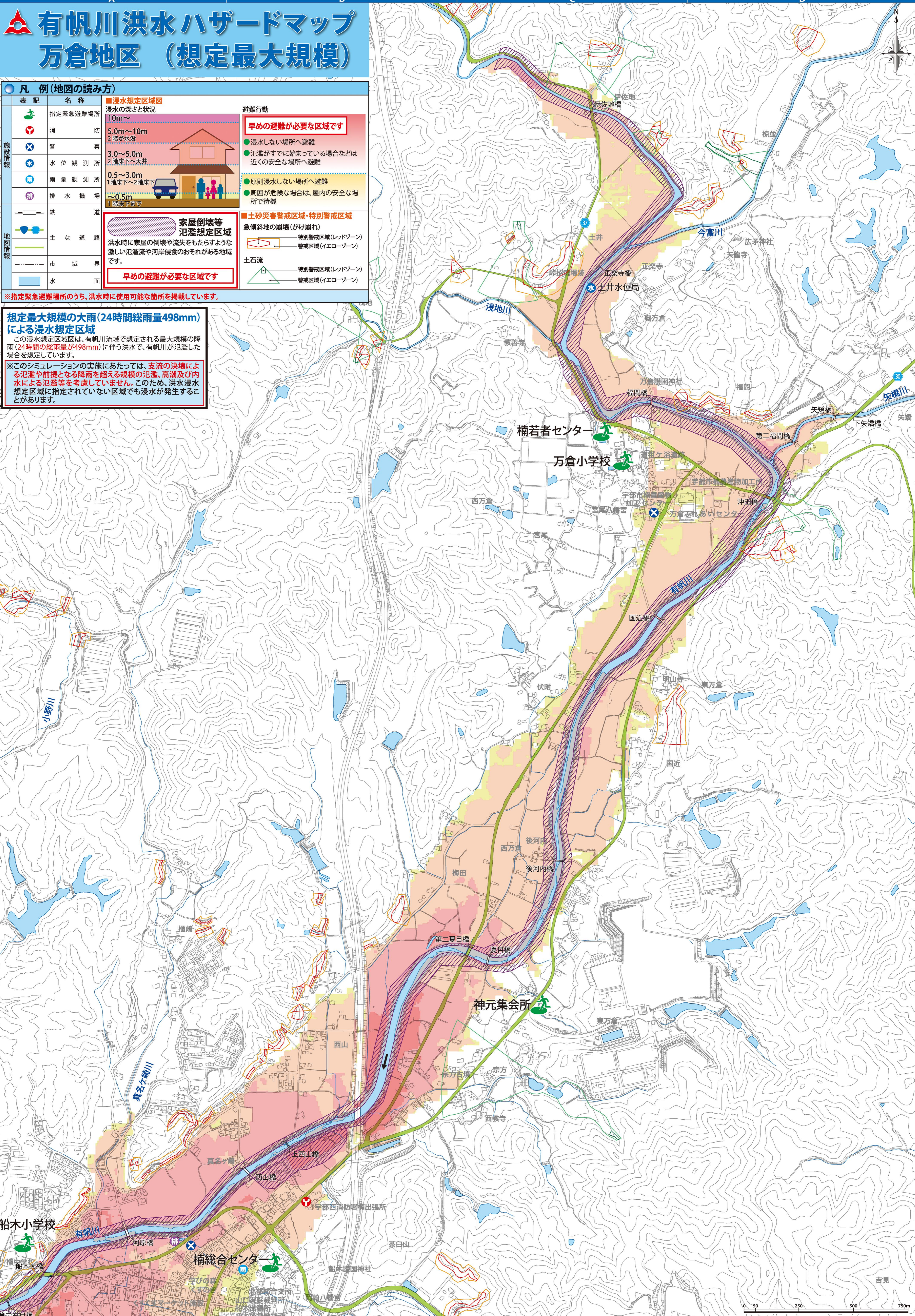
- 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
- 特別警戒区域(レッドゾーン)
- 警戒区域(イエローゾーン)
- 土石流
- 特別警戒区域(レッドゾーン)
- 警戒区域(イエローゾーン)

※指定緊急避難場所のうち、洪水時に使用可能な箇所を掲載しています。

想定最大規模の大雨(24時間総雨量498mm)による浸水想定区域

この浸水想定区域図は、有帆川流域で想定される最大規模の降雨(24時間の総雨量が498mm)に伴う洪水で、有帆川が氾濫した場合を想定しています。

※このシミュレーションの実施にあたっては、支流の決壊による氾濫や前提となる降雨を超える規模の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。このため、洪水浸水想定区域に指定されていない区域でも浸水が発生することがあります。



※この浸水深等の色分けについては、「洪水ハザードマップ作成の手引き」(国土交通省)に準拠しています。 ※地図に表しているデータは常に更新されており、必ずしも正確でない場合がありますので、利用に当たっては注意してください。 ※この地図の作成にあたっては、宇部市の承認を得て、平成28年作成の都市計画図1/10,000の地図情報を使用しています。転載、二次利用及び業務目的に使用することは固くお断りします。(不許複製) (令和3年4月宇部市)